

お出かけに
贈りものに
たばこは町内でお買上げください

町たばこ消費税は、昭和42年度(42年4月~43年3月まで)に20,480,410円も町へはいました

八郷伝報

NO. 154 1968. 4. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(柿岡)4番
発行責任者 岩本 佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口
男 14,187人
女 14,697人
計 28,884人
世帯数 5,711戸
(4月1日現在)

町の総予算、6億8662万円

第1回例会 町長は6つの重点事業を説明



八郷町第一回例会が、三月十一日から二十二日までの十二日間の会期で開かれ、昭和四十三年度一般会計予算など二〇議案(追加二議案を含む)が上程されたが全議案とも原案どおり可決された。

また、十三日の本会議では、町長が昭和四十三年度の施政方針演説を行ない、六つの重点事業の説明をした。議案の議決までを議事日程にしたがって説明しますと十一日は午前十時から開会、全議案をいっかつ上程し、昭和四十三年度一般、特別会計予算をのぞく議案を先議とし、提案理由の説明のあと審議されて議決された。十二日は休会。十三日は予算関係の議案をいっかつ議題とし、議案朗読のあと、町長の施政方針演説と提案理由の説明があつて散会した。

十四日と十五日は自宅審議で休会。十六日は本会議を再開し、総括質問が行なわれたあと、各常任委員会へ付託された。

十七日は休会。十八日と十九日は常任委員会を開催、付託議案について細かい点にまで審査が行なわれた。二十日、二十一日は休会。二十二日の最終日は、午前十時から本会議を再開、各常任委員長の審査結果報告のあと、質疑が行なわれて議決された。また、一般会計補正予算など二つの追加議案が提出されて可決、十二日間にわたる議事を閉じた。

八郷町第一回例会が、三月十一日から二十二日までの十二日間の会期で開かれ、昭和四十三年度一般会計予算など二〇議案(追加二議案を含む)が上程されたが全議案とも原案どおり可決された。

また、十三日の本会議では、町長が昭和四十三年度の施政方針演説を行ない、六つの重点事業の説明をした。議案の議決までを議事日程にしたがって説明しますと十一日は午前十時から開会、全議案をいっかつ上程し、昭和四十三年度一般、特別会計予算をのぞく議案を先議とし、提案理由の説明のあと審議されて議決された。十二日は休会。十三日は予算関係の議案をいっかつ議題とし、議案朗読のあと、町長の施政方針演説と提案理由の説明があつて散会した。

十四日と十五日は自宅審議で休会。十六日は本会議を再開し、総括質問が行なわれたあと、各常任委員会へ付託された。

十七日は休会。十八日と十九日は常任委員会を開催、付託議案について細かい点にまで審査が行なわれた。二十日、二十一日は休会。二十二日の最終日は、午前十時から本会議を再開、各常任委員長の審査結果報告のあと、質疑が行なわれて議決された。また、一般会計補正予算など二つの追加議案が提出されて可決、十二日間にわたる議事を閉じた。

施政方針内容

重点事業を中心に推進

昭和四十三年度における町の事業とこれにともなうところの予算案を本議会に提案するに当り、私の町政運営に對しまする方針について申し上げます。

町長就任以来五カ年の間、私は町政というものは町民とともに考え、町民とともに計画し、町民とともにこれを積み上げてゆく仕事であるとの考えを貫いてきております。これらの基本的な考えの上から、常に町としてあるべき開発の姿をとらえ、農林業の振興を主軸として進めてまいりました町政でございますが、議会の皆さん、町民各位のご協力によりまして、おむね順調な発展の道をたどっておりますものと存じます。

四十二年度におきましては農家一戸当りの所得は約五十五万円をやや上回る実体となつております。ここに深く感謝の意を表するとともに喜ぶべきものと存じます。これら積み重ねられた現況

の上に、このほど町は県から田園都市建設事業地域としての指定を受けました。この指定は、将来とも工業化、都市化の見通しのない純農村的性格の強い町村が対象となつておりまして、新町発足以来、執行行なつてまいりました町行政の基本と一致します。

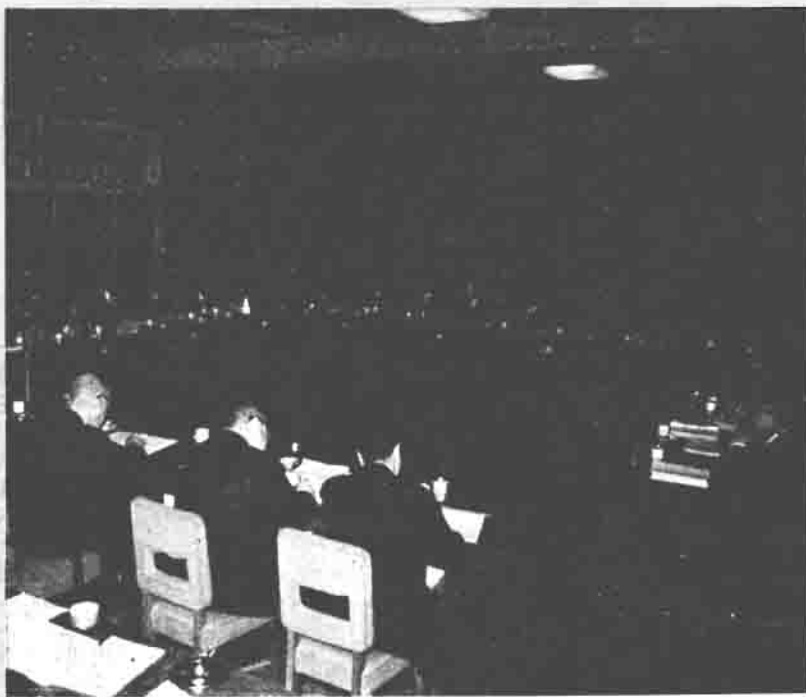
四十三年度は、その計画年度になつておりますが、四十二年度の事業並びに予算も待望の明るい豊かな田園都市建設の段階へ発展する足がかりとしての事業執行でありますことをご承知願ひたいと存じます。ここで四十三年度に取り上げます重点事業について申し上げます。

農林産業を振興

農業構造改善事業を継続

第二番目 促進されまして、その生産額の農林産業は約三十九億円と推定されるほど大きな躍進を示しております。新年度におきましてもさらに

①農林省指定による農業構造改善事業の継続
②小規模土地改良、農地集約化事業
③隣接町村との共同事業である石岡広域農業改善及び石岡台地土地改良事業、巴川土地改良事業
④農業後継者の育成確保
⑤各種生産団体などの育成を前年度に引き続いて強力に推進したいと考えております。



↑ 施政方針のべる町長

第一番目に 田園都市建設事業

一番目に田園都市建設事業でございますが、慎重に検討し、町民各層からの意見をいただき、たゞり四十三年度中に地についた計画を樹立して、事業実施の万全を図りたいと考えております。

教育文化の振興

給食センターの建設

統合中学校の建設をはじめ、小・中学校施設の整備、社会教育の振興などを図つてまいりましたが、さらに、文化的地域社会を形成するため本年度は

①小・中学校児童を対象とする給食センターの建設
②南中体育館の建築
③有明中学校付属設備などの充実
④恋瀬分館の改築
⑤そのほか、小中学校の施設の充実と田園都市建設の基本となるところの社会教育の振興などを重点として取り上げてまいり所存でございます。

町民福祉の充実をはかる

保育所の設置

第四番目は町民福祉の充実を進めることといたします。さきに老人福祉センターの整備も終り、社会福祉協議会は、はじめ遺族会、老人会、未亡人会、身体障害者など関係団体の育成、保育所の設置、環境衛生を中心とする町民の健康管理のための保健行政などを総合的に推進してまいりたいと思ひます。そのなかで、未設置地区に対する、

町民福祉の充実をはかる

保育所の設置

最後に重点事業の一つとしての行政改善について申し上げます。

時代の進展にともない、同じ事務のなかでも、その内容はますます複雑多岐となつてまいりました。こうした中で、職員の内増をおさえ、能率化を図ることがきわめてたいせつなことであり、各市町村とも、この問題に真剣に取り組んでいるわけでありまして、役場の事務管理は、町民の便利を第一としたうえで、の能

- 可決された
おもな議案
- 第一回例会で可決された議案(予算をのぞく)は次のとおりです。
- 一般会計補正予算……補正額は一、五四二万円
 - 国保特別会計補正予算……補正額は一、〇九万円
 - 課室設置条例の一部を改正……新しく企画課が新設されたこと、各課ごとの事務分担が一部変わりました
 - 印鑑条例の一部を改正
 - 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
 - 手数料条例の全部を改正……手数料条例の全部を改正し、証明など四十円であったものを十円引き上げ五十円にした
 - 税条例の一部を改正
 - 職員給与に関する条例の一部を改正……職員の一部を改正し、納期を暫定的に変更したることなど
 - 農業共済条例の一部を改正……畜産共済の掛金率の改正
 - 納税奨励に関する条例などの廃止……条例を廃止し、別に規則で決めることになった
 - 畜産無事もどし金の交付
 - 町道路線の廃止……真家地内二〇ヘクタールの土地改良のため町道を一時廃止するものです
 - 県民交通災害共済組合の規約の協議について……交通事故災害を受けた者に対する救済制度をつくるためです
 - 一般会計補正予算……補正額は一〇〇万円

率化でなければならないと思
います。
四十四年度からは、住民基
本台帳法が全面実施されるこ
とと関連いたしまして、役場
編成にあたっては

健全均衡財政を守る

以上、四十三年度の町政に
対する私の考えと事業の重点
について、その大要を申し上げ
ました。引き続いて予算
計予算

町税の占める割合は約20%

予算額は四億八〇九〇万円

昭和四十三年度の予算が決まりましたが、一般会計予算の収入のなかで町税の占める割合は約20%で、ほとんどが国、県の交付税などです。歳出の面では農林水産業費と教育費で約半分を占めています。以下予算のあらましについて書いてみました。

はいるお金

町税

九、五五六万円
(一九・九%)

町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ消費税、電気ガス税、木材引取税です。

地方交付税

二億二、三〇〇万円
(四六・四%)

使用料及び手数料

六一二万円
(一・三%)

保育所児童保育料、町営住宅使用料、戸籍謄、抄本手数料、印鑑証明などの手数料。

国庫支出金

七、四一八万円
(一五・四%)

保育所設置負担金、南中屋体建設負担金、農業構造改善事業補助金、給食センター施設費補助金、参議院議員選挙委託金など。

内の機構をいかにすべきかをよく検討し、できれば四十四年度中に具体案をまとめ、四十四年度当初に改善を図りたいと考えております。

① 国、県と同一基調による健全均衡財政を堅持すること
② 的確に年間を通じての財源を推計し、年度内施策を盛りこんだ総合予算を編成し、計画的な財政運営を行なうこと
③ とくに経常経費については増高を極力抑えること
以上を編成の基本方針として作成しました。

県支出金

二、一九六万円
(四・六%)

農業委員会費負担金、田園都市建設基礎調査補助金、農業構造改善事業補助金、県税徴収委託金など。

財産収入

六六万円
(〇・一%)

寄付金

九九万円
(〇・二%)

繰入金

五二二万円
(一・一%)

財政調整積立金からの繰り入れです。

繰越金

七七〇万円
(一・六%)

諸収入

一、一〇九万円
(二・三%)

預金利子、消防団員退職報償金受入金、環境衛生薬剤個人負担金など。

町債三、三四〇万円

(七・一%)

消防施設整備事業債、体育

でるお金

議会費

一、二五〇万円
(二・六%)

議員報酬、職員給料、議長交際費など。

総務費

三、四五九万円
(七・二%)

社会福祉費は一、五二八万円、職員給料、慰霊祭費、国民年金費、高令者慰問記念品代、老人クラブ助成金など。

民生費

一、三三六万円
(二・八%)

選挙費は明正選挙推進の費用と参議院議員選挙費などで一四二万円

統計調査費一七四万円

監査委員費一五万円

農林水産業費は、一億二四一四万円、農林業を振興させるために、構造改善事業の推進、小規模土地改良、農地の集約化ほ場の整備などをはかります。そのおもなものは、農業委員会費、二化イイ虫の空中防除費、農協育成補助金、農業構造改善事業補助金(半田地区、月岡地区、真家地区など)、各種団体補助金、病虫害防除用品代、ビニールハウス設置補助金、果樹苗木購入補助金などで、昨年より五、一五八万円の増額です。

農工費

一、四四万円
(〇・三%)

農工振興補助金、たばこ売り上げ補助金など。

土木費

五、〇五〇万円
(一〇・五%)

土木管理費は一、三三〇万円、長期借入れに対する元金、利子の返済金です。



改修された町道
= 片岡地内 =

道路橋梁費は三、六九四万円、そのおもなものは、道路補修の砕石代、道路改良工事費、湯袋観光道路改良工事費、県土木工事地元負担金、橋かけかえ工事費、西光院林道工事費など

町営住宅費四五万円

衛生費

一、五四〇万円
(三・二%)

保健衛生費は一、五〇五万円、おもなものは医師報酬各種ワクチン代、環境衛生薬剤代など

清掃費三四万円

児童福祉費は、新たに二カ所設置するための開設費などがおもなもので、九三二万円

消防費のおもなものは、団員退職報償金、消防自動車一台購入費、小型動力ポンプ三台購入費、貯水槽工事費などで、八〇五万円です

教育費

一億三、八九六万円
(二八・九%)

教育総務費は九三九万円、職員給料、八郷高校建設負担金などです

小学校費は、用務手、給食婦の給料と教材用品費、各種補助金などで二、五七九万円です

中学校費は九、二四二万円、給食センターの建設と南中の屋体を建築します。このほか統合された中学校の設備の整備を行ないます

社会教育費は一、〇三三万円、恋瀬分館の改築工事費、町誌の発行、青年団、婦人会助成金、敬老会助成金、各種学級費などです

保健体育費は、スポーツ教室開設費、体育協会助成金などで二〇二万円

災害復旧費

七八二万円
(一・六%)

災害復旧費は七八二万円で風水害による河川、道路などの復旧工事費です

公債費

二、一六〇万円
(四・五%)

長期借入れに対する元金、利子の返済金です。

予備費

三〇〇万円
(〇・六%)

特別会計予算は、国民健康保険など四つの予算で、総額は二億五七二万円となります。

特別会計の総予算は

二億五七二万円

国民健康保険

一億三、一四七万円

農業共済

四つの勘定で四、七三三万円

はいるお金

二、四二二万円

共済掛金及び交付金

一、〇五七万円

保険金

一、四一四万円

繰越金

二二二万円

はいるお金

二二二万円

保険料

二二二万円

共済金

二二二万円

は無事もし金

一六六万円

予備費

一六六万円

はいるお金

九六五万円

共済掛金

二二二万円

共済金

二二二万円

は無事もし金

一六六万円

予備費

一六六万円

はいるお金

四六〇万円

共済掛金

四六〇万円

共済金

四六〇万円

業務勘定

一、一五〇万円

はいるお金

四五二万円

賦課金

六五〇万円

寄付金

一〇万円

諸収入

三万円

繰越金

三五五万円

はいるお金

九四〇万円

総務費

九四〇万円

職員給料、納入奨励金など

一〇七万円

業務費

一〇七万円

評価会委員手当など

一〇三万円

はいるお金

二、四一六万円

有線放送電話

二、四一六万円

はいるお金

一、八五六万円

使用料及び手数料

一、八五六万円

繰入金

六〇〇万円

繰越金

四五〇万円

諸収入

五〇万円

はいるお金

二六九万円

総務費

二六九万円

職員給料、積立金など

八〇万円

簡易水道事業費

六四四万円

電気料、材料代など

一四四万円

予備費

一〇〇万円

町の予算総額

一般会計	480,909,000円
国民健康保険	131,472,000円
農業共済	47,385,000円
有線放送電話	24,165,000円
簡易水道	2,696,000円
合計	686,627,000円

でるお金

議会費 一、二五〇万円 (二・六%)

総務費 三、四五九万円 (七・二%)

民生費 一、三三六万円 (二・八%)

農工費 一、四四万円 (〇・三%)

土木費 五、〇五〇万円 (一〇・五%)

予備費 三〇〇万円 (〇・六%)

特別会計 二億五七二万円

国民健康保険 一億三、一四七万円

農業共済 四、七三三万円

業務勘定 一、一五〇万円

有線放送電話 二、四一六万円

簡易水道 二六九万円

はいるお金 六八六、六二七、〇〇〇円

統合 有明中が完成して開校

3カ年の歳月と9,260万円をかけて



↑2階につけられた玄関 完成した有明中の全容



昭和40年の10月から着工された統合有明中学校の建築は3カ年の歳月と、9,260万円の工費をかけて完成、この4月から開校した。校舎は、鉄筋コンクリート造りの3階建て、総面積3,482・25㎡。1階が特別教室、2階が管理室、3階が一般教室で、玄関を2階につけるといふ合理的な近代校舎です。

活動のさかんな 優良子ども会など表彰

昭和四十二年度優良子ども会や指導者が選ばれて表彰を受けたものです。老人福祉センターで開かれ、

町長表彰

- ▽子ども会
 - ▽金 指子ども会 (柿岡)
 - ▽杉の子 (芦徳)
 - ▽小 倉 (恋瀬)
 - ▽古 館 (〃)
 - ▽向 坪 (〃)
 - ▽宇治会 (瓦会)
 - ▽しあわせ (團部)
 - ▽東山崎 (〃)
 - ▽上 林 (林)
 - ▽小野越、仏生寺 (小桜)
- ▽指導者
 - 塚田 隼 (柿岡) 白井 岩夫 (芦徳) 鈴木末男 (瓦会)

郡社会福祉協議会表彰

- ▽子ども会
 - ▽八重子子ども会 (柿岡)
 - ▽細谷 (小幡)
- ▽指導者 森光男 (柿岡)

退職区長に感謝状贈る

町長、予算について説明



八郷町区長全員協議会と区長会連合会定期総会が四月十三日八郷公民館で開かれ、長い間区長をつとめて退職された区長さん一〇名と多数の来賓が出席して区長全員協議会が開かれ、感謝状贈呈につづき町長から昭和四十二年の予算のあらましの説明と、日ごろのお骨折りに対するお礼が述べられたあと、課長の紹介や役場の仕事に対する質疑などがあって終了した。

午後は、区長会連合会定期総会が開かれ、昭和四十二年区長全員協議会での区長さん一〇名に対するお礼が述べられたあと、課長の紹介や役場の仕事に対する質疑などがあって終了した。

午後、区長会連合会定期総会が開かれ、昭和四十二年区長全員協議会での区長さん一〇名に対するお礼が述べられたあと、課長の紹介や役場の仕事に対する質疑などがあって終了した。

新しく「企画課」を新設

職員の定期異動を行なう

新しい課「企画課」の新設と一部機構改革にともなう定期異動を、四月一日付で発令しました。

このため、課長、係長らに異動がありましたのでお知らせいたします。

新課名	氏名	旧課名
企画課長	飯村 嘉雄	賦課係長
企画係長	石田 道夫	税務課長
企画係長	白田 竜雄	家畜共済係長
企画係長	川俣 政雄	農委局長
企画係長	久保田 貴美	農委局長
企画係長	柴山 芳忠	農委局長
企画係長	岩波 芳松	農委局長
企画係長	久保田 照茂	農委局長
企画係長	萩原 治	農委局長
企画係長	久保田 照茂	農委局長
企画係長	萩原 治	農委局長
企画係長	久保田 照茂	農委局長
企画係長	萩原 治	農委局長

新課名	氏名	旧課名
企画課長	飯村 嘉雄	賦課係長
企画係長	石田 道夫	税務課長
企画係長	白田 竜雄	家畜共済係長
企画係長	川俣 政雄	農委局長
企画係長	久保田 貴美	農委局長
企画係長	柴山 芳忠	農委局長
企画係長	岩波 芳松	農委局長
企画係長	久保田 照茂	農委局長
企画係長	萩原 治	農委局長
企画係長	久保田 照茂	農委局長
企画係長	萩原 治	農委局長

このたびの表彰は、長い間にわたって協力一致して、自らをすすめるの贈りものに、

「八郷町青年団」 泉民会議から表彰

八郷町青年団(団長永山公士)では、このほど水戸中央ビルにおいて、茨城県民会議(会長江幡保)から「優良青少年団体」として表彰をうけた。

「納税奨励金」 今月末に支払い

納税奨励金後期分の支払いを行います。

この奨励金は、昭和四十二年の後期分(四十二年十月〜四十三年三月まで)で一般税、国民健康保険税、有線放送使用料などのすべての税金、使用料について支払いを行います。

支払いの日は四月三十日まで納税のさい窓口で支払いを行います。

片岡の大野谷さん 懸賞金を寄付

野谷美称子さんと、このほど開かれた新治郡農業委員会連絡協議会主催の農業後継者懸賞文に応募、みこと二位に入賞しました。

入賞したので、たくさんのお品とともに賞金二千元をもらいましたが、大野谷さんは「福祉事業の資金として使ってください」と、社会福祉協議会へ寄付しました。

社会福祉協議会では、大野谷さんの意にそなうよう使用することにしました。

利用者はたいへん感謝しております。

名もつげずに 100枚

このほど老人福祉センターへ、名もつげずに100枚の懸賞文が寄せられました。この懸賞文は「老後旅路のおみやげにもうちょと働きたく思います。お使いください」という手紙が100枚にそなうようになっています。

このたびの表彰は、長い間にわたって協力一致して、自らをすすめるの贈りものに、

「八郷町青年団」 泉民会議から表彰

八郷町青年団(団長永山公士)では、このほど水戸中央ビルにおいて、茨城県民会議(会長江幡保)から「優良青少年団体」として表彰をうけた。

このたびの表彰は、長い間にわたって協力一致して、自らをすすめるの贈りものに、

「八郷町青年団」 泉民会議から表彰

八郷町青年団(団長永山公士)では、このほど水戸中央ビルにおいて、茨城県民会議(会長江幡保)から「優良青少年団体」として表彰をうけた。

